

2024年度  
日本医用歯科機器学会  
第34回研究発表大会  
プログラム・抄録集

メインテーマ

『なぜ、いま鑄造なのか？』

会 期：令和6年7月21日（日）

会 場：日本歯科大学生命歯学部7階臨床講義室

主 催：日本医用歯科機器学会

学 会 長：高橋 英和（日本医用歯科機器学会会長）

大 会 長：新谷 明一（日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座）

準備委員長：石田 祥己（日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座）

実行委員長：三浦 大輔（日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座）

◆大会事務局◆

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-9-20

日本歯科大学生命歯学部 歯科理工学講座

大会事務局：新谷 明一

E-mail：34jsde@gmail.com

# 大会長挨拶

## メインテーマ 『なぜ、いま鑄造なのか？』

クラウンやインレーの主な材料として金属が用いられてきた時代から、陶材や歯冠補綴用レジンの物性が飛躍的に向上した現在、保険診療においても歯冠色材料が金属材料に迫る勢いで使用されてきています。それに伴い、国民の口腔内から金属の存在が減少し続け、こぼれる笑顔の片隅に散見された金属色が珍しくなる時代が来るかもしれません。近年では装置の製作方法も鑄造、焼成や重合から切削加工や付加製造など、匠の手作業より効率の良い機械による作業への変革し、義歯までもがCAD/CAMで製作可能となってきています。また、教育の現場に目を向けると、多くの歯学部では鑄造の実習が無くなってきており、これからの歯科医療を支える若手の先生は、その経験すら無いまま臨床を行うこととなります。しかしながら、それら歯冠色材料が果たしてすべての症例に適応できるほど万能であるのか？もう、金属の優れた機械的性質を歯冠色材料は凌駕しているのか？もう臨床で金属は必要ないのか？その答えは、いまだ明らかではありません。

さて、第34回の日本医用歯科機器学会・研究発表大会ですが、7月21日（日）に日本歯科大学生命歯学部での開催を予定しております。今回は話題の中心となっているデジタル化技術に対して、アナログ技術を再認識すべくメインテーマを「鑄造」としました。実際の臨床の現場ではまだまだ、金属が多く用いられています。しかしこの先、鑄造をメインテーマとした大会は皆無でしょう。なので、ここが鑄造を見直す最後のチャンスだとの思いで、掲げさせていただきました。すべての症例に最適な材料などあるはずもなく、材料の性質を熟知した歯科医師が、適材適所に選択することが最適な歯科医療であるとの思いと共に、もう一度歯科鑄造を復習していただきたいと思います。ぜひとも研究発表会が熱く盛り上がるように、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座  
大会長：新谷 明一

# プログラム

◆大会日程◆ 一部変更になることもありますので、ご了承ください。

〈7月21日（日）〉

10:30	11:30	12:00	13:00	14:45	14:55	15:55	16:05	17:05	17:45	17:55	18:15
常任理事会・ 理事・評議員会 合同会議	総会	ランチョン セミナー	一般講演	休憩 (CM)	教育講演	休憩 (CM)	シンポジウム	特別講演	閉会		懇親会

10:30～11:30 常任理事会・理事・評議員会の合同会議

11:30～12:00 総会

12:00～12:40 ランチョンセミナー

13:00～14:45 一般講演

14:45～14:55 休憩（企業コマーシャルビデオタイム）

14:55～15:55 教育講演

15:55～16:05 休憩（企業コマーシャルビデオタイム）

16:05～17:05 シンポジウム

17:05～17:45 特別講演

17:45～17:55 閉会および道具大賞選考

18:15～19:45 懇親会

10:30 ~

受付開始

11:30 ~ 12:00

総会

12:00 ~ 12:40

《ランチョンセミナー》 座長：新谷 明一（日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座）

「デジタル技工とアナログ技工の共存」

講師：野口 一希（和田精密歯研株式会社 東京ラボ）

12:50 ~ 13:00

開会・会長挨拶・大会長挨拶

13:00 ~ 13:45

《一般講演1》

座長：須貝 辰生（タカラベルモント株式会社）

演題1 「効率的なイオン浸透式表面麻酔器」

○上田 義人<sup>1)</sup>、平田 健一<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 愛知県開業、<sup>2)</sup> 元 朝日大学歯学部 口腔機能修復学講座

演題2 「石膏の圧縮試験における一考察」

○玉置 幸道<sup>1)</sup>、笹本 法寛<sup>2)</sup>、新谷 耕平<sup>2)</sup>、堀口 敬司<sup>2)</sup>、奥山 克史<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 朝日大学歯学部、<sup>2)</sup> 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科理工学分野

演題3 「誤嚥防止ロール状ガーゼの開発ー誤嚥防止能力の評価ー」

○川本 千春<sup>1)</sup>、矢後 亮太郎<sup>1)</sup>、福山 麻衣<sup>1)</sup>、友清 淳<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 北海道大学病院 むし歯科、

<sup>2)</sup> 北海道大学 大学院歯学研究院 歯科保存学教室

13:45 ~ 14:45

《一般講演2》

座長：玉置 幸道（朝日大学歯学部）

演題4 「チェアサイドで簡単に使える筋電計の改良」

○匠原 悦雄（しょうはら歯科医院）

演題5 「傾斜角を自由に設定し保持できる印象体スタンドの開発」

○角田 龍平<sup>1)</sup>、白井 麻衣<sup>1)</sup>、鈴木 銀河<sup>1)</sup>、原田 直彦<sup>2)</sup>、三山 善也<sup>2)</sup>、

大久保 力廣<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座、

<sup>2)</sup> 鶴見大学歯学部歯科技工研修科

演題6 「美顔ローラー付き歯ブラシの試作」

○中辻 勇志（中辻歯科医院）

演題7 「Wax up の意義を考える、築盛した Wax の冷却送風器」

○西山 和彦（あい歯科クリニック）

14:45～14:55 休憩（企業コマercialビデオ）

---

14:55～15:55 《教育講演》 座長：高橋 英和（日本医用歯科機器学会会長）

---

「歯科医学教育における鑄造の意義」

1. 「教育における鑄造の現状」

講師：玉置 幸道（朝日大学歯学部）

2. 「鑄造から CAD/CA システムへの華麗なる変革」

講師：末瀬 一彦（大阪歯科大学 奈良県歯科医師会）

15:55～16:05 休憩（企業コマercialビデオ）

---

16:05～17:05 《シンポジウム》 座長：新谷 明一（日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座）

---

「なぜ、いま鑄造なのか？」

1. 「鑄造床義歯は生き残れるのか？」

講師：大久保 力廣（鶴見大学歯学部 口腔リハビリテーション補綴学講座）

2. 「金属床の将来展望」

講師：陸 誠（株式会社コアデンタルラボ横浜）

17:05～17:45 《特別講演》 座長：新谷 明喜（日本歯科大学・名誉教授）

---

「歯科用合金の成形方法—歯科鑄造を振り返って—」

講師：小田 豊（東京歯科大学・名誉教授）

17:45～17:55 閉会および道具大賞選考

---

18:15～19:45 《懇親会》

---

《企業展示》

株式会社 モリタ

株式会社 吉田製作所

株式会社 モリムラ

## ◆参加登録◆

次の要領で参加登録を募集いたします。多くの方のご参加をお待ちいたします。

### 1) 参加登録方法

下記の**参加登録フォーム**に必要事項をご記入いただき、大会事務局宛に**Eメール**でお申し込みください。  
Eメールのタイトルは「**参加登録申込\_氏名**」としてください。

**参加登録フォームは学会 HP (<https://jsde.org/>) からダウンロードできます。**

参加登録申し込み先（大会事務局）：34jsde@gmail.com

また、Eメールをお送りになる前に、次頁の口座に参加費の納入をお願いいたします。

（振込人名の最初に必ず参加登録者の氏名を記してください。氏名がない、法人名などの場合、確認ができません。振込手数料は参加者負担となります）。

Eメールの受領と入金を確認された時点で、参加登録手続き完了とさせていただきます。

なお、参加費のご返金はいかなる場合でもいたしかねますので、ご了承ください。

### 【参加登録フォーム（第34回 日本医用歯科機器学会研究発表大会）】

- ①氏名（フリガナ）：
- ②勤務先名（所属）：
- ③Eメールアドレス：
- ④住所：
- ⑤電話：
- ⑥FAX：
- ⑦参加登録費：下記の通りです。

学生の場合は学生証等、在籍が証明できる書類のコピーをPDFファイルで添付してください。

区分		事前登録	当日登録
会 員	歯科医師・歯科商工業者	8,000円	9,000円
	歯科技工士・歯科衛生士	6,000円	7,000円
非会員	歯科医師・歯科商工業者		10,000円
	歯科技工士・歯科衛生士		8,000円
	学生（学部／専門学校生）		1,000円
懇親会	会員・非会員	事前登録費に含む	当日登録費に含む

- ※ 懇親会費は、参加登録費に含まれます。したがって、参加登録をされた方につきましては無料でご参加いただけます。懇親会のみ参加される場合には参加登録費と同額をお支払いください。
- ※ なお、懇親会につきましても事前登録を行っています。参加の可否を参加登録フォームにご記入ください。
- ※ 宿泊のご案内は行っておりません。

## 2) 振込先

金融機関：三菱 UFJ 銀行 神楽坂支店

口座：普通 1050277

名義：日本医用歯科機器学会 第34回研究発表大会 大会長 新谷明一

## 3) 事前参加登録締切

令和6年7月5日(金)

### ◆第34回日本医用歯科機器学会研究発表大会事務局◆

〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20

日本歯科大学生命歯学部 歯科理工学講座

大会事務局：新谷明一 E-mail：34jsde@gmail.com

### ◆発表者各位へ◆

#### 1) 口頭発表者への注意事項

- ・一般講演は発表12分、質疑応答3分です。
  - ・大会側でPC(Windows対応)は準備をします。使用するPCはWindows 10、PowerPoint 2019(Windows)です。
  - ・発表データはUSBフラッシュメモリで口頭発表受付にお持ちください。
- ※PCをご自身で持ち込みたい先生は、事前に大会長(tamaki@dent.asahi-u.ac.jp)までご相談ください。  
基本はHDMIで対応いたします。

#### 2) 発表の中から道具大賞(金賞・銀賞・銅賞・アイデア賞・努力賞など)を表彰します。

#### 3) 発表された研究内容につきましては、日本医用歯科機器学会誌に掲載させていただきます。学会誌投稿規定に則り、令和6年10月末日までに学会事務局までご投稿ください。

### ◆座長各位へ◆

- 1) 一般口演は、各演題15分(発表12分、質疑応答3分)ですので、円滑な進行に務め、活発な討論がなされるようにご配慮ください。時間厳守にご協力ください。
- 2) 会場からの質問の場合には、発言者に所属と名前を述べるように指示してください。

### ◆発表者・座長各位へ◆

タイムキーパーは特に置きませんので、座長の先生が時間を管理してください。